

令和 8 年度 国立国語研究所 運営会議（第 1 回） 議事概要

日 時：令和 8 年 6 月 22 日（月） 10：00～11：40

場 所：Web 会議

出席者：河原委員、川村委員、呉人委員、小泉委員、小林委員、近藤委員、滝浦委員、田中委員、
投野委員、皆川委員、

浅原委員、五十嵐委員、石黒委員、小木曾委員、小磯委員、高田委員、前川所長

議 事：議事に先立ち、事務局より、「国立国語研究所運営会議規程」第 5 条第 1 項による定足数の
確認が行われた。

<議事概要確認>

（1）前回議事概要（案）について

議長から、資料 1 に基づき、「令和 7 年度国立国語研究所運営会議（第 4 回・第 5 回）議事概要（案）」について説明があり、原案のとおり了承された。

<審議事項>

（1）国立国語研究所長候補者選考委員会の設置について

議長から、資料 2 に基づき、所長候補者選考委員会の設置について説明があり、外部委員 2 名、内部委員 3 名が指名され、了承された。また、運営会議終了後に所長候補者選考委員会を開催し、委員長の決定及びスケジュールの審議を行うこととなった。

<報告事項>

（1）国立国語研究所長候補者の推薦について（中間報告）

議長から、所長候補者推薦の回答状況について報告があり、未回答の委員へ回答の依頼があった。

（2）第 5 期に向けたフィージビリティースタディ等について

所長から、資料 3 に基づき、新規で申請のあった 1 件について、審査を行った結果、採択した旨報告があった。

（3）国立国語研究所宮地裕日本語研究基金について

所長、宮地裕日本語研究基金運営委員会委員長から、資料 4 に基づき、第 3 回学術賞、第 4 回学術奨励賞、及び総研大日本語言語科学コース特別奨学金の審査を進めており、7 月 8 日に予定している宮地裕日本語研究基金運営委員会で決定すること、学術賞・学術奨励賞授賞式をハイブリッド形式で予定している旨報告があった。

（4）大学共同利用機関法人人間文化研究機構大学院特別研究員の雇用について

所長から、資料 5 に基づき、昨年度総合研究大学院大学から募集のあった SOKENDAI 特別研究員（機関雇用型）について、日本語言語科学コースの学生 1 名が採択され、4 月から人間文化研究機

構大学院特別研究員として国語研にて受入れを開始した旨報告があった。

(5) 共同利用型共同研究の採択報告について

所長から、資料 6 に基づき、前回運営会議後、共同利用型共同研究 8 件の申請があり、7 件を採択した旨報告があった。

(6) 令和 9 年度概算要求について

所長から、資料 7 に基づき、令和 6 年度概算要求で採択された「DH によるデータ集積を前提とした言語研究を先導する E3P-Linguistics の確立」を継続要求すること、新たな事業として「言語の多様性保全センターの設置」を要求する準備をしている旨報告があった。

(7) 国立国語研究所の活動について

所長から、資料 8 に基づき、研究所の運営・体制、イベントの開催状況、広報・社会貢献活動等、国語研の活動状況について報告があった。

(8) その他

・ロードマップ 2026 の申請について

所長から、資料 9 に基づき、新たに「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想 - ロードマップ 2026 - 」の申請を行った旨報告があった。

・次回開催日について

議長から、今年度の開催日時と、次回は、7 月 17 日(金)15:00~16:30 にオンラインで予定している旨説明があった。

議事終了後、磯野次世代言語科学研究センターテニユアトラック助教から、「文理解における統語と記憶」と題する研究紹介があり、意見交換が行われた。

最後に、委員長から、外部委員から一言ずつ意見をいただきたいとの提案があり、今後の国語研の研究活動等について意見交換が行われた。

以上